

【ご案内】

「家庭科の授業を語る会（第192回）」の開催

桜の花びらが風に舞い、葉桜の季節に移っていきます。新年度が始まって、お忙しくされていることでしょう。「家庭科の授業を語る会」も今年度は宮崎県内だけでなく、広く九州地区で家庭科教育に携わっていらっしゃる先生方と、オンラインでつながっていければと準備を進めているところです。

第192回の「語る会」ではさっそく、大分大学の財津庸子先生に、話題提供をお願いすることにしました。今回はオンラインのみでの開催ですが、今後は対面も加えたハイブリッドでの開催も実施していく予定です。どうぞ皆さん、お気軽にご参加下さい。お待ちしております。

- 日時：2024年4月20日（定例の第3土曜日） 午後2時から午後4時（参加費：無料）
- 場所：今回は、zoomのみ：下記のアドレスに接続下さい↓
<https://miyazaki-u-ac-jp.zoom.us/j/83100456711?pwd=0E9EUUZ6Zkp4WFRLd2Z4a25CT3lDQT09>
○ミーティングID: 831 0045 6711 ○パスコード: &8q.XLci
- 話題：「家庭科におけるエシカル消費の教材研究～フェアトレードを中心に」
- 話題提供者：財津庸子（大分大学）

「家庭科の授業を語る会（第190回）」（2024年3月16日）の報告

○話題：生活文化科における食物調理技術検定取得を目指した授業実践事例

○話題提供者：松本仁美（宮崎農業高校）

第191回の語る会では松本先生に、宮崎農業高校の生活文化科での食物調理技術検定3級を目指した授業実践について話題提供していただきました。

生活文化科では、家庭クラブ活動や課題研究発表といった特色ある学習活動が行われ、地域との連携も重視されています。そこでは食物調理技術検定による資格取得も行われており、合格に向け「Kahoot!」と「Google クラスルーム」を活用した実践について、実際に演習を交えながらご説明いただきました。

「Kahoot!」は、筆記問題への対策として反復して問題を解き、定着を図ることを目的に使われていました。日々の授業で取り組む活用法や、問題作成の仕方についてご説明いただき、ゲーム感覚で気軽に何度も取り組むことができるよさや、作成を行う技術が必要であることを実感しました。また「Google クラスルーム」は、実技テストの課題を提出するという方法で活用されており、手軽に提出することができる便利さや、写真にコメントを残す等の手立てについてご説明いただきました。

これらについて、参加者からは使いこなす難しさや児童生徒の操作技術についての意見があった一方で、活用の便利さや今後のICT活用についての意見も出されました。

今回の語る会で、新たに「Kahoot!」や「Google クラスルーム」について、演習を通して理解することができ、ICT活用についての知識が広がりました。今後も積極的にICT活用について学習し、取捨選択を行いながら、よりよい授業づくりをめざしたいと思います。（文責：宮崎）

連絡先：家庭科の授業を語る会（事務局）

〒889-2129 宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学家政教育講座内

伊波 富久美（大学院教育学研究科）：Tel/Fax 0985-58-7539（直通）

：メールアドレス e09101u@cc.miyazaki-u.ac.jp

大矢 英世（教育学部）：Tel/Fax 0985-58-7542（直通）

：メールアドレス hideyo@cc.miyazaki-u.ac.jp

●「家庭科の授業を語る会」のホームページ：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc074/htdocs/>

●旧Twitter：fukumi@家庭科を学ぶ子ども達のために <https://twitter.com/BOH0pr7qtF2EVwi>